

自動車安全技術プロジェクトチーム 第5回会議の概要

1 開催日時等

日 時：平成27年3月24日（火）午後1時30分～3時30分

場 所：ウィンクあいち

出席者：

愛知県副知事 森岡 仙太

【企業】 浅田 浩之 三菱自動車工業(株) 車両先行研究部長
板尾 大助 オムロンオートモーティブエレクトロニクス(株) AS センサ開発課長
清水 克正 アイシン精機(株) 走行安全企画部 主担当
山田 浩二 中部日本自動車学校 校長
樋口 正浩 (株)デンソー 情報安全技術企画室長
松永 栄樹 (株)アドヴィックス 技術管理部 理事
山本 昭雄 トヨタ自動車(株) ITS企画部長

【大学】 河中 治樹 愛知県立大学 情報科学部 准教授
鈴木 達也 名古屋大学 大学院工学研究科機械理工学専攻 教授
武田 一哉 名古屋大学 大学院情報科学研究科メディア科学専攻 教授

【行政】 国土交通省中部運輸局、豊田市役所都市整備部交通政策課、愛知県警察本部、
愛知県産業労働部、振興部、県民生活部、建設部

2 議事概要

- 事務局、各メンバーよりプロジェクトチームとしての取組状況及び関連の取組について報告を行った。
- プローブ情報活用WGの効果検証、事故分析WG*の分析結果などの報告の後、意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

※事故分析WGでは、名古屋大学の水野幸治教授に御協力いただいた。

【主な発言】

- PTは非常に具体的な取組をしており、今後も継続してほしい。個別の事故データのカルテを見ながらの分析や、プローブ情報を活用した交通事故対策や普及啓発活動など、非常に意義があると思っている。
- 今回の事故分析で、右折時に前面形状がフラットな車ほど死者が多いことが分かったので、右折支援システムの車載器のアイデアに活かしたい。
- 新あいち創造研究開発補助金を活用し、自動運転の実証を行っているが、自動運転は必ず安全技術の向上に寄与するものと思っており、引き続き支援をお願いしたい。
- 事故を減らすためには、車、道路環境、人の3つを整備していく必要がある。道路環境でいえば、道路白線自体にもっとインテリジェントな変革を加える必要があり、道路標示監視装置もその一つ。人については指差し呼称を普及させたいと考えており、高齢者講習などで取り入れてほしい。